



清閑亭より、渡辺です。

2015年第一弾はいきなり「番外編」！小田原を飛び出して、おとなり箱根湯本をまち歩き。小田原駅から電車で約15分の近場リゾート箱根を、渡辺さんとまち歩き流に楽しめます！

新春！番外編

箱根湯本で 温泉と、お蕎麦の まち歩き

文…渡辺剛治
(NPO法人小田原まちづくり応援団)
編…編集部コメント



まち歩き
スタート



まち歩きの天敵は2つ。ひとつは体調不良で、これは日頃の自己管理でどうにかしましょう。どうにもならないのがもうひとつで、天気季候です。特に昨今、夏の酷暑と冬の極寒はお手上げです。そんな中、どうしてもまち歩きをするなら、いっそのこと寒い所に行ってしまう！ということで今回は箱根湯本へお邪魔しました。



〈箱根湯本駅 MAP①〉云わずと知れた箱根の玄関口。2009年に改装された駅舎と、その後になった「湯悠デッキ」。



〈湯悠デッキ MAP②〉国道一号をまたぐデッキから見ると、まさに箱根が迫って来ます。



〈観光案内所 MAP③〉デッキを降りると目の前は、湯本のことだけでなく、箱根のことなら何でも教えてくれる案内所です。湯本まち歩きの最強の味方です。



〈あじさい橋 MAP④〉赤い欄干のあじさい橋の向こう岸にはヒメハルゼミで有名な早雲寺林の小山があります。江戸時代の旧東海道はその小山の向こう側を通過しています(が、残念ながら今回は旧街道筋には参りません)。



〈さくらぎ薬局1 MAP⑤〉創業百年の薬局さんは、別名「レトロ写真館」。



〈さくらぎ薬局2 MAP⑤〉創業当初から絵葉書も販売していたという大家で、2階は展示室、カウンターではオリジナル写真集も販売しています。



〈熊野神社2 MAP⑩〉今でも熊野(ゆや)権現は大切に祀られ、例祭は毎年9/9。



〈熊野神社1 MAP⑩〉湯本橋を渡って右手奥に進むと空気が少し変わります。そもそも箱根の温泉はここから始まったので、ここが「湯本」の湯元。発祥の源泉「惣湯(そうゆ)」は奈良時代から知られていたといわれ、北条氏の武将達もつかったといえます。



〈馬車鉄道・電気鉄道 MAP⑨〉河鹿荘前まで来ました。あじさい橋より少し上流には、かつて「落合橋」という橋が架かっていて、その上を電車が通ってました。小田原電気鉄道、今の箱根登山線の前身です。1919年まで電車は早川の向こう側を走って来たのです。



〈見番 MAP⑧〉湯本の見番には30軒の置屋があり、160人の芸子さんが所属しています。さらにお稽古場も併設して、毎月一回稽古のお稽古が公開されています。箱根の花柳界はまだ健在で、箱根に宿泊するお客様におもてなしをしています。



〈裏道 MAP⑥〉今回のまち歩き、往路は早川沿いの裏道を行きます。お土産屋さんが立ち並び華やかな表通りは帰り道のお楽しみ。



(編) 早川沿いの遊歩道を歩いていると、サギやカワセミを見ることがも。ちなみにMAP⑦のあたりで撮影。



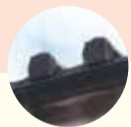
〈萬翠楼福住・福住正兄1 MAP⑪〉熊野神社の門前に店を構える福住旅館は、創業1625年。「萬翠楼」の屋号は木戸孝允の命名。



〈萬翠楼福住・福住正兄2 MAP⑪〉明治時代の当主・福住正兄(まさえ)は、二宮尊徳の門人として小田原でも有名ですが、旅館と湯本の街の近代化を進めた立役者でした。



〈萬翠楼福住・福住正兄3 MAP⑪〉福住正兄は明治8年、いち早く小田原湯本間に車道を整備。旅館も木骨石造りの擬洋風建築として、二階までの壁を石積みで囲い、火事の多かった湯本の防火対策として各旅館に石造りの蔵を作らせたりしました。



(編) 福住さんの蔵の瓦をよく見ると、「福」の文字が！MAP⑪



〈平賀敬美術館1 MAP⑫〉明治の元勳たちが逗留した建物で、今は平賀敬美術館となっています。



〈平賀敬美術館2 MAP⑫〉現代絵師・平賀敬の世界が館内に満ちていますが、驚くのはそれだけではなく、築百年の建物と絶品のお風呂、そしてどこかアバンギャルドな女たちが描かれています。



〈平賀敬美術館3 MAP⑫〉建物奥には福住正兄ゆかりの石蔵が残っています。建物は国の登録有形文化財で、明治後期の建築。お風呂は大理石の湯殿に完全かけ流し。



〈湯本学校跡 壁 MAP⑮〉須雲川にかかる弥栄橋を渡ってすぐに左へ。この石壁は一目で古いですね。塀や側溝に常に目をやるのもまち歩きのコツです。ここには明治時代から湯本学校という、今でも小学校がありました。



〈吉池旅館 暁亭 MAP⑭〉吉池旅館ではもうひとつ、館内を左奥にずんずん進むとそこに、山縣有朋が小田原別邸「古稀庵」で愛した茶室「暁亭」が移築保存されています。もとは古稀庵の離れとして母屋に付属していましたが、茶室部分だけがここに移築され、母屋は湯本ホテル内に移されました。



〈吉池旅館 旧岩崎別邸と庭園2 MAP⑭〉玄関正面ロビーを右奥に進むと広大で閑静な庭に出られます。ここは元・三菱岩崎弥之助の別荘で、登録文化財の母屋は1904年の建築。徳川家ゆかりの茶室「真光庵」も隣接します。もちろんお庭も当時の姿をよく残して、須雲川からの流水には虫も舞うとのこと。



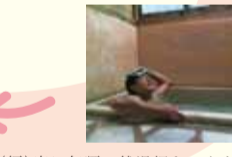
〈吉池旅館 旧岩崎別邸と庭園1 MAP⑭〉まち歩きでの吉池旅館はお庭がメインとなります(吉池さんごめんなさい)。



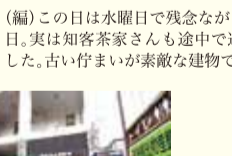
(編) 庭内の記念撮影スポットには地面からカメラの三脚が！せっかくなので、渡辺さんにも座っていただきました。



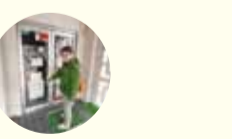
〈豆腐処 萩野 MAP⑬〉江戸時代創業の老舗。天然のにがり湯坂山の湧き水を使ったお豆腐は香り高く絶品。その木綿豆腐は、すぐ近くの知客茶家(しかぢや)さん名物「早雲豆腐」でも堪能できます。ランチの後の豆乳杏仁もおすすめ。



(編) 実は無類の銭湯好きでもある渡辺さん。写真(上)は渡辺さんが以前こちらを訪れた際に入浴された時の写真を、ご本人からお借りしました。絵になります！*お風呂のご利用に関しては平賀敬美術館にお問い合わせください。



(編) この日は水曜日で残念ながら萩野さんは定休日。実は知客茶家さんも途中で通りがかりました。古い佇まいが素敵な建物でした。(写真右)



〈はつ花 新館1 MAP⑯〉そして今回の湯本まち歩きのゴール、はつ花さん(新館)に到着です。



〈はつ花 新館2 MAP⑯〉ここは、このコーナーですっかりおなじみ松永耳庵が生前最もご馴染にしたお蕎麦屋さんです。往時のご当主は103歳で健在。



〈はつ花 新館3 MAP⑯〉耳庵は松永記念館での春秋園遊会で、必ず「はつ花」の「耳庵そば」を振る舞いました。今回はお店おすすめの「貞女そば」をいただきました。うん、うまい。



(編) こちらが渡辺さんが注文した「貞女そば」。自然薯がかかっています。



〈箱根観光物産館 MAP⑰〉お腹も心も満足しました今回のまち歩き。湯本駅までの帰り道にはたくさんのお土産屋さんが軒を連ねます。が、何にしようか迷ったら箱根観光物産館を覗いてみてはいかがでしょうか。やっぱりこけしは気になります。今日はお休みだったので、また次回。



(編) だんだん定休日や休館が定番化している気がするこのコーナー。しかし！これもまち歩きのあじわいです。実は、もっとロングバージョンのコースも考えていただいた渡辺さん。紙面の都合上今回はその一部となりました。みなさんも、ぜひ防寒して箱根湯本まち歩きにお出かけください。

渡辺剛治

「NPO法人小田原まちづくり応援団の一員として、2010年より本格的に小田原の勉強をする。1975年12月生まれの甘えん坊將軍。クラクラする頭をひねりながらガイドに励み、まち歩きの魅力にゾクコン中。いつもは清閑亭にいて出動命令を持ちつつ、美味しいお茶をいれたり草刈りをしたりしています。」



清閑亭 旧黒田長成別邸 1906年(明治39年)創建
〒250-0013 小田原市南町1-5-73
TEL.0465(22)2834
開館11:00~16:00 火曜休館
入館無料(喫茶は有料) 駐車場なし
公式ブログ <http://machien5.exblog.jp/>